

リグロスWEBセミナー

# リグロス®の臨床特性を再考する

日時

2023年**12**月**6**日（水）19：30～21：00

会場

WEB開催（Zoomウェビナー）＊事前登録制：裏面参照

座長

**西村 英紀** 先生

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 歯周病学分野 教授



演者1

「エナメルマトリックスデリバティブとの比較に見る  
リグロス®の特性と臨床への展開」  
**白方 良典** 先生

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科顎顔面機能再建学講座歯周病学分野 准教授



演者2

「治療経過から考察する  
リグロス®の再生療法への可能性と適応法」  
**水上 哲也** 先生

九州大学歯学部臨床教授 水上歯科クリニック 院長



主催 科研製薬株式会社

2023年12月6日水曜日 19:30~21:00

## 【参加方法】

下記URLまたは二次元バーコードより必要事項をご入力ください。

URL <http://bit.ly/3PHBFhs>

ウェビナーID 896 7467 0484



登録後、ZOOMよりメールが自動送信されます。

セミナー当日にメールの「ウェビナーに参加」または「参加用リンク」をクリックしてご参加ください。

\* 弊社では、ご記入/ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取り組み<https://www.kaken.co.jp/privacy/>に従い、取り扱います。内容をご確認いただき、同意の上申し込みにお進みください。

お問い合わせ

福岡市博多区博多駅東2-6-26安川産業ビル3階  
科研製薬株式会社 福岡オフィス学術部 池本浩一

TEL022-221-6226

E-mail [ikemoto\\_kouichi@kaken.co.jp](mailto:ikemoto_kouichi@kaken.co.jp)

## Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分ご注意ください。

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者  
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

### 【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

#### 〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

### 【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

#### 〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

### 【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

### 【使用上の注意】<抜粋>

#### 1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

#### 2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中β<sub>2</sub>ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。

分類	頻度	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹	硬結、肥厚
精神神経系			頭痛	
臨床検査		尿中アルブミン陽性、尿中β <sub>2</sub> ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇	AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇	

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

2022年7月改訂(第6版)



歯周組織再生剤

**リグロス<sup>®</sup> 歯科用液キット 600μg/1200μg**  
**REGROTH<sup>®</sup> Dental Kit 600μg/1200μg** トラフェルミン (遺伝子組換え) 製剤

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

製造販売元  
[文献請求先及び  
問い合わせ先]



**科研製薬株式会社**  
東京都文京区本駒込二丁目28番8号  
医薬品情報サービス室